

よ	み	う	り
子	育	て	
応	援	団	

@大阪

日時 / 2013年6月15日(土)午後1時～3時30分

会場 / 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

主催 / 読売新聞社

後援 / 内閣府、厚生労働省、文部科学省、大阪府、大阪市

協賛 / 住友生命保険相互会社

協力 / サラヤ株式会社

ごあいさつ

核家族化や少子化が進んで身近に相談する相手もなく、子育てに悩み、不安を感じているお母さんやお父さんが増えています。こうした若い世代の育児を応援しようと、読売新聞社は2001年秋、発達心理学や児童福祉などの専門家、子育て経験のある著名人、保育の現場に携わる方々三十数人をメンバーとして「よみうり子育て応援団」を結成し、全国各地で「相談トーク」を開催してきました。

相談トークは、事前にお母さんやお父さんから悩みをお聞きし、メンバーがそれに答える形で会場と一緒に議論を深めていくのが特徴です。「ほめる、どうする?」「仕事・これからの私」など毎回、異なるテーマを選び、様々な角度から子育てを巡る問題を解きほぐし、参考にさせていただいてきました。46回目となる本日のテーマは「じいじ、ばあばと一緒に子育て」です。子育てに協力する祖父母世代のかかわり方について皆さんと考えます。相談トークの内容は、読売新聞の紙面に掲載するほか、インターネットのホームページでも紹介する予定です。

読売新聞社は今後も子育てを幅広くサポートしてまいります。ご期待ください。

読売新聞大阪本社
代表取締役社長

太田 宏

プログラム

13:00 開会 主催者あいさつ

13:15 相談トーク (前半)

テーマ 「じいじ、ばあばと一緒に子育て」

- ◆大日向雅美 (恵泉女学園大教授)
- ◆津村 薫 (女性ライフサイクル研究所講師)
- ◆古久保俊嗣 (NPO法人エガリテ大手前代表)
- ◆大東めぐみ (タレント)

(順不同、敬称略)

14:15 休憩

14:25 親子で楽しむパネルシアター

- ◆NPO法人C・キッズ・ネットワークの皆さん

14:40 相談トーク (後半)

15:30 閉会

PROFILE

プロフィール



応援団の参加メンバー

(敬称略)



大日向雅美

専攻女子大教授(発達心理学)、子育ての専門家。育児と施設長を兼ね、他者のママに寄り添うの心。など。62歳。

子どもは、親はもちろんのことですが、いろいろな人の愛情に包まれてこそ、健やかに育ちます。特に祖父母の眼差しは、豊かな人生経験に裏付けられたゆとりと温かさに満ちていることでしょう。人生の先輩としても、その知恵に学ぶ点が多いことと思います。でも子育ての主導権は親にあります。祖父母は出過ぎないように、親は甘え過ぎないように、互いに適度な距離感を大切にしたいものですね。



津村 薫

女性リーダーシップ研究、前職子育て支援センター副所長など。育児と人間関係など。育児生活を送る中で、ママの話を聴く。女の母。60歳。

子育てを通して築くさまざまな人間関係は子どもを豊かに育み、ママ、パパ、祖父母それぞれにプラスになります。でも、この人間関係に消耗する人、傷つく人の話を昨今よく耳にします。何も言えずにもやもやするか、言う時は爆発かという極端なコミュニケーションをとってしまう人も少なくありません。キレルのでもなく、一方的でもなく、譲り過ぎるのでもない程良い関係性をどう築くか、皆さんと共に考えたいと思います。



古久保俊嗣

NPO法人C・キッズ・ネットワーク前代表。商社勤務を経て、男女共同参画の調査研究や、祖父のための子育て認定資格講座の講師など。59歳。

家族の姿が劇的に変化し、少子化が進む中で、お子さんやお孫さんに恵まれることは決して当たり前ではありません。この無上の喜びは、育児に主体的に参加することで、より一層大きなものになります。子どもは、多くの人々から愛情のシャワーを浴びることで、安定した成長を遂げてゆきます。お母さん、お父さんが、気軽に周囲の応援を求め、周囲が自然に応える好循環を作ってゆきましょう。



大東めぐみ(司会進行)

テレビ番組の情報番組などで活躍。子育ての現場。育児には勇気を持って取り組む。中学生と3人の男の子の母。41歳。

初めての子育てを支えてくれたのは父と母でした。時にはぶつかりましたが、それでもあの時の支えは私や息子に必須でした。初めての子育てが不安なのは親も子も同じ。ただそこにたくさんの目と手があれば、子どもを守る事につながり、頼れる人の多さは子ども自身の財産にもなります。頼り、頼られるのは人間だからこそ。ですが忘れてはいけないルールもあるのでは。笑顔で子育てするために皆で一緒に考えませんか？

親子で楽しむパネルシアター —— NPO法人C・キッズ・ネットワーク

(兵庫県西宮市、大森節子理事長)

消費生活関連の有資格者を中心としたメンバーが集まって、1997年から活動を開始。現在メンバーは49人。関西を中心に、小学校などでお金の使い方や食生活などを題材とした消費者教育出前講座を開いている。第6回「よみうり子育て応援団大賞」大賞受賞。